

平成19年度 全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成19年 4月24日（火）に第3学年を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果が10月24日に公表され本校にも届きました。

この調査結果を踏まえ、本校としての今後の取り組みについてお知らせします。

なお、今回の調査で測定できるのは、学力の特定の一部であり全てではありません。本調査結果でお知らせしますのは、生徒の「学校生活・家庭生活・生活体験・地域に関すること・国語や数学」であり、これらの結果を踏まえ、本校の課題を明確にし、課題解決に向けて教職員全員が一丸となって努力していきたいと思っています。

ご家庭でも家庭生活における基本的な生活習慣の確立、家庭学習の支援などご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。

1 調査内容

① 教科に関する調査

A：主として「知識」に関する問題		B：主として「活用」に関する問題	
国語	★身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	国語	★知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力
数学	★実生活において不可欠であり、常に活用出来るようになっていくことが望ましい知識・技能など	数学	★様々な課題解決のための構想を立てて実践し、評価・改善する力

② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

2 教科学習状況調査の結果

国 語：A B

領域別状況 ◇良い状況と考えられる内容 ◆指導・改善が必要とされる内容

1 領域別状況 ◇良い状況と考えられる内容 ◆指導・改善が必要とされる内容

話すこと・聞くこと

◇ (A) 伝える必要のある内容を簡潔なメモにまとめることは相当数の生徒が出来ている

書くこと

◇ (A) グラフから必要な情報を読み取り、記述することはおおむね良好であった

◆ (B) 資料に表れている内容をとらえ、伝えたい事柄や考えを明確にして書くことに課題がある

読むこと

◇ (A) 語句の意味に注意して内容を読み取る事は相当数の生徒が出来ている

◆ (A) 知識を実際の文脈で活用することに課題がある

◆ (B) 作品の内容や構成、表現上の特徴をとらえることに課題がある

言語事項

◇ (A) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う事は相当数の生徒ができています

◆ (A) 小学校で学習する漢字も含めた漢字の書きに課題がある

◆ (B) 作品の展開や心情の変化を考え、工夫して朗読することに課題が見られた

2 指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

☆ 目的に沿って話したり、聞き取ったりする力を身に付ける為の実践的な言語活動の工夫

書くこと

☆ 読んだものに対して、自分の考えを述べる（評価する）力を高める為に、日頃から様々な種類の文章に親しませ、自分の考えを書くような言語活動を取り入れた指導の工夫

読むこと

☆ 読書の機会をふやし、多くの文章を読ませる指導の工夫

言語事項

☆ 基本的な語句・語いも含めて、日常生活の中で多くの語いを身につけさせる指導の工夫

☆ 漢字や語句を文脈に即して理解させる指導の工夫

1 領域別状況 ◇良い状況と考えられる内容 ◆指導・改善が必要とされる内容

数と式

- ◇ (A) 基本的な計算についてはおおむね良好である
- ◆ (A) 文字と数量の関係の理解や等式の変化の技能に課題が見られた
- ◆ (B) 数学的な表現を用いて説明したりすることに顕著な課題が見られた

図形

- ◇ (A) 角度の問題や基本的な作図など平面図形に関するものはおおむね良好である
- ◆ (A) 空間図形に関する知識・理解に課題が見られた
- ◆ (B) 証明したり、理論的に説明したりすることに顕著な課題が見られた

数量関係

- ◇ (A) グラフの見方については、おおむね理解出来ている
- ◆ (A) 比例、反比例、一次関数など、ほとんどの関数関係に顕著な課題が見られた
- ◆ (B) 数学的に理論立てて説明することに顕著な課題が見られた

2 指導改善のポイント

- ☆ 数学での文字は、数（数字、数量）であるという認識を持たせる指導をする事により文字式にも慣れ、数学的な表現能力も向上させることができる
- ☆ 理論的な説明や証明をすることに大きな課題があるので、じっくり考えさせる時間・発問が必要である。そのための時間確保と発問の内容の研究を進める
- ☆ 興味・関心を持たせる「楽しい授業」の工夫を研究し実践することにより、生徒が自ら考えるようにする
- ☆ 空間図形では、見取り図が書けるようにし、基本的な学習内容を具体物を用いて指導する
- ☆ 関数については、視覚に訴え、変化が分かるような内容を取り入れて理解を深める

3 質問紙調査の結果

特徴的なものについて、一例を上げてみました

◇良く出来ているもの

◆生活面での改善が必要なもの

- ◆ 毎日朝食を食べていますか・・・64.7%が食べている
県は76.%, 全国は80.5%
- ◆ 身の回りのことを自分でやっていますか・・・26.5%がやっている
県は32.7%, 全国は34.4%
- ◆ 毎日同じ位の時刻に起きていますか・・・41.2%が起きている
県は47.9%, 全国は55.0%
- ◆ 勉強する時間を自分で決めて実行していますか・・・5.9%がしている
県は12.4%, 全国は12.4%
- ◆ テレビを見る時間やゲームをする時間等のルールを家の人と決めていますか
73.5%が決めていない、決めていないは0%
県は51.9%, 全国は50.8%がきめていない
- ◆ 普段何時頃に寝ますか・・・23.5%が午前1時以降に寝ている
県は10.9%, 全国は8.9%
- ◇ 学校に持って行く物を前日かその日の朝に確かめていますか
・・・70.6%が確かめていると好結果でした
県は60.0%, 全国は65.1%

本校生徒の比較的良くできているところ

学校に持って行く物は前日かその日の朝に確かめている
学校の規則を守っている 本校 91, 県 83, 全国 86%
家で学校の宿題をしている 本校 82, 県 77, 全国 80%
学校で好きな授業がある 本校 94, 県 80, 全国 77%
自分には良いところがある 本校 24, 県 20, 全国 20%

今後努力する必要があるもの

全体的に運動量が少ない、スポーツにもっと親しむ必要がある
家の人と朝食や夕食を一緒にしていない人が多い
早寝、早起きができていない
家庭学習（予習・復習）が充分ではない
地域行事への参加が少ない
今、住んでいる地球の歴史・自然についての関心度は低い
家の人と一緒に朝食を食べていますか 本校 23, 県 34, 全国 41%
家の人と一緒に夕食を食べていますか 本校 62, 県 75, 全国 80%

以上の調査結果から、本校の生徒にはもっと運動やスポーツに親しむ習慣が必要であり、家庭生活においても、家の人と一緒に食事をする習慣や早寝・早起きの習慣づくり、約束ごとを決めて過ごす等のルールづくり、地域の一員であるという自覚と積極的な地域行事への参加意識等が必要であるという結果がでました。

別のデータから「早寝・早起き・朝ご飯」と学校での集団生活における基本的な生活習慣とは相関があると言われていています。今一度、それぞれのご家庭での生活を見直しお子さんの成長について、ご家族で話し合っただけであればと思います。